

平成 30 年度 有明の丘研修(第 2 期) アンケート結果まとめ

平成 30 年度 有明の丘研修(第 2 期)のアンケートの回答状況を集計し、得られた集計結果をもとにこれまでの結果と比較した。なお、有効回答の比率を比較するため、無回答を除外して比較している。

単元別アンケート

質問		結果まとめ
㊤	この講義・演習の内容に対する満足度を 100 満点で評価してください	● コース全体の平均は、平成 27 年度第 1 期以降、上昇しており、平成 30 年度第 1 期まで上昇していたが、第 2 期においても平成 30 年度第 1 期とほぼ同じ水準だった。
		⇒ 80 点以上の高い水準で推移しており、受講者の満足度の高い講義が実施できていると考えられる。
㊥	学習目標を達成できましたか？	● 「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の占める割合の平均は、89.4%であり、平成 30 年度第 1 期とほぼ同じ水準だった。
		⇒ 「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の割合は高い値を示しており、学習目標に合致した講義を実施できていると考えられる。
㊦	講義・演習の方法や進め方(話し方・態度・時間配分・作業・班割り等)は、理解しやすかったですか？	● 「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の占める割合の平均は、87.8%であり、平成 30 年度第 1 期とほぼ同じ水準だった。
		⇒ 「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の割合は高い値を示しており、理解しやすい進め方であると考えられる。
㊧	テキストの視認性(見やすさ、分かりやすさ)や分量は適切でしたか？	● 「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の占める割合の平均は、88.3%であり、平成 30 年度第 1 期とほぼ同じ水準だった。
		⇒ 「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の割合は高い値を示しており、適切なテキストの視認性・分量が確保できていると考えられる。

最終日アンケート

質問		結果まとめ
㊦	本研修は、期待したとおりの内容でしたか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の占める割合の平均は、93.8%であり、平成 30 年度第 1 期とほぼ同じ水準だった。 ⇒ 「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の割合は高い値を示しており、期待に合致した講義を実施できていると考えられる。
㊦	カリキュラムは適切でしたか？	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の占める割合の平均は、93.5%であり、平成 30 年度第 1 期とほぼ同じ水準だった。 ⇒ 「1.非常にそう思う」「2.そう思う」の割合は高い値を示しており、適切なカリキュラムで実施できていると考えられる。
㊦	事前学習を実施しましたか？ (①～⑥の 6 コースのみ質問)	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1.十分に実施した」「2.ある程度実施した」の占める割合の平均は、89.2%だった。
㊦	事前学習を通じてコースで何について学ぶのかが理解できましたか？ (①～⑥の 6 コースのみ質問)	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1.非常に理解できた」「2.ある程度理解できた」の占める割合の平均は、88.6%であり、平成 30 年度第 1 期とほぼ同じ水準だった。
㊦	事前学習を通じて、自分のわからないことを確認できましたか？ (①～⑥の 6 コースのみ質問)	<ul style="list-style-type: none"> ● 「1.非常に確認できた」「2.ある程度確認できた」の占める割合の平均は、82.9%であり、平成 30 年度第 1 期とほぼ同じ水準だった。
		⇒ (事前学習に関連する項目共通) 実施した人は平成 30 年度第 1 期と比較して多くなっている。「何について学ぶのかが理解できたか」「自分のわからないことを確認できたか」については、平成 30 年度第 1 期とほぼ同じ水準であることから、事前学習の効果はほぼ例年通りの効果であったと考えられる。

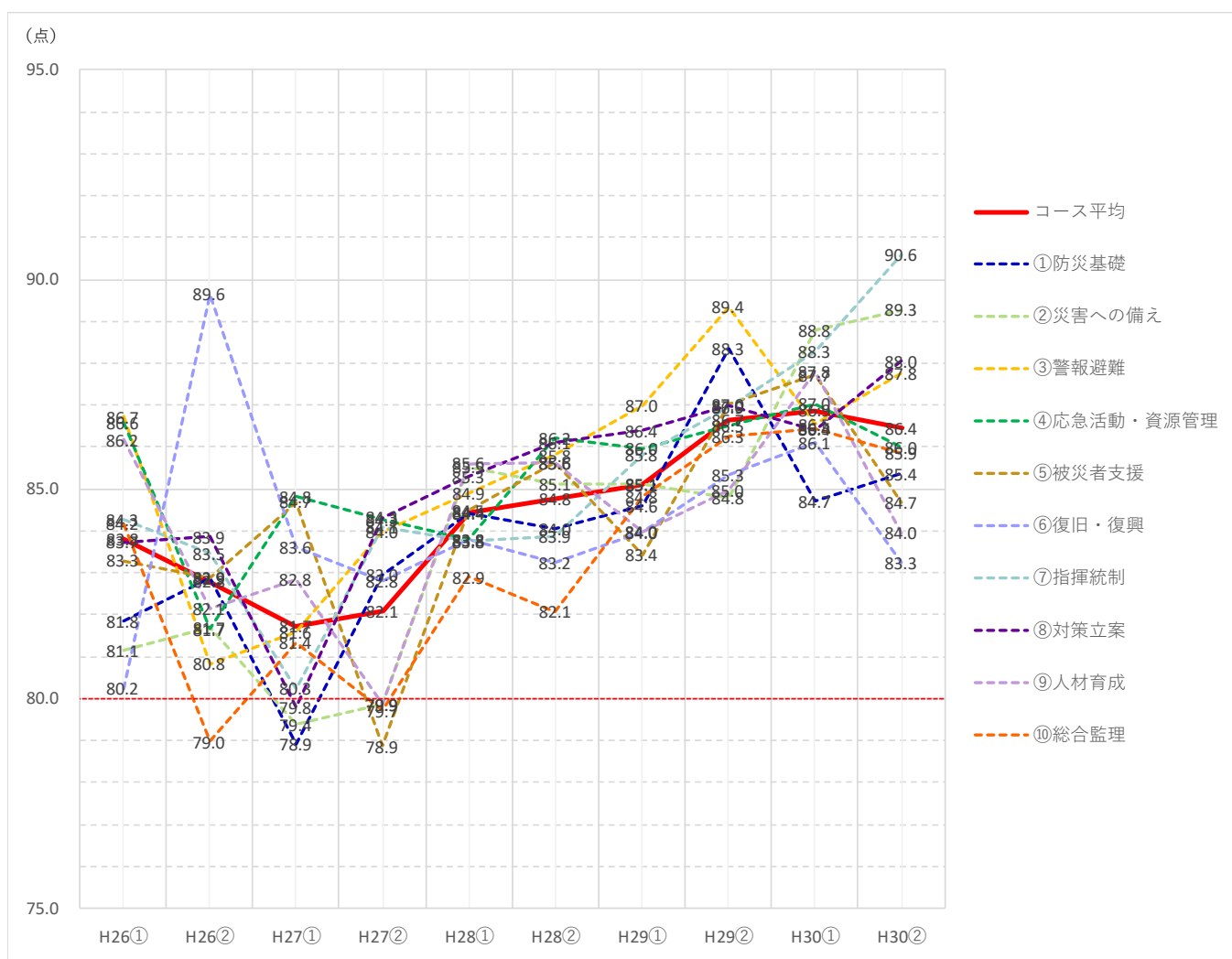
※コース毎のアンケート結果は各ワーキンググループでの検討において活用

㊤ 「この講義・演習の内容に対する満足度を 100 満点で評価してください」の回答状況

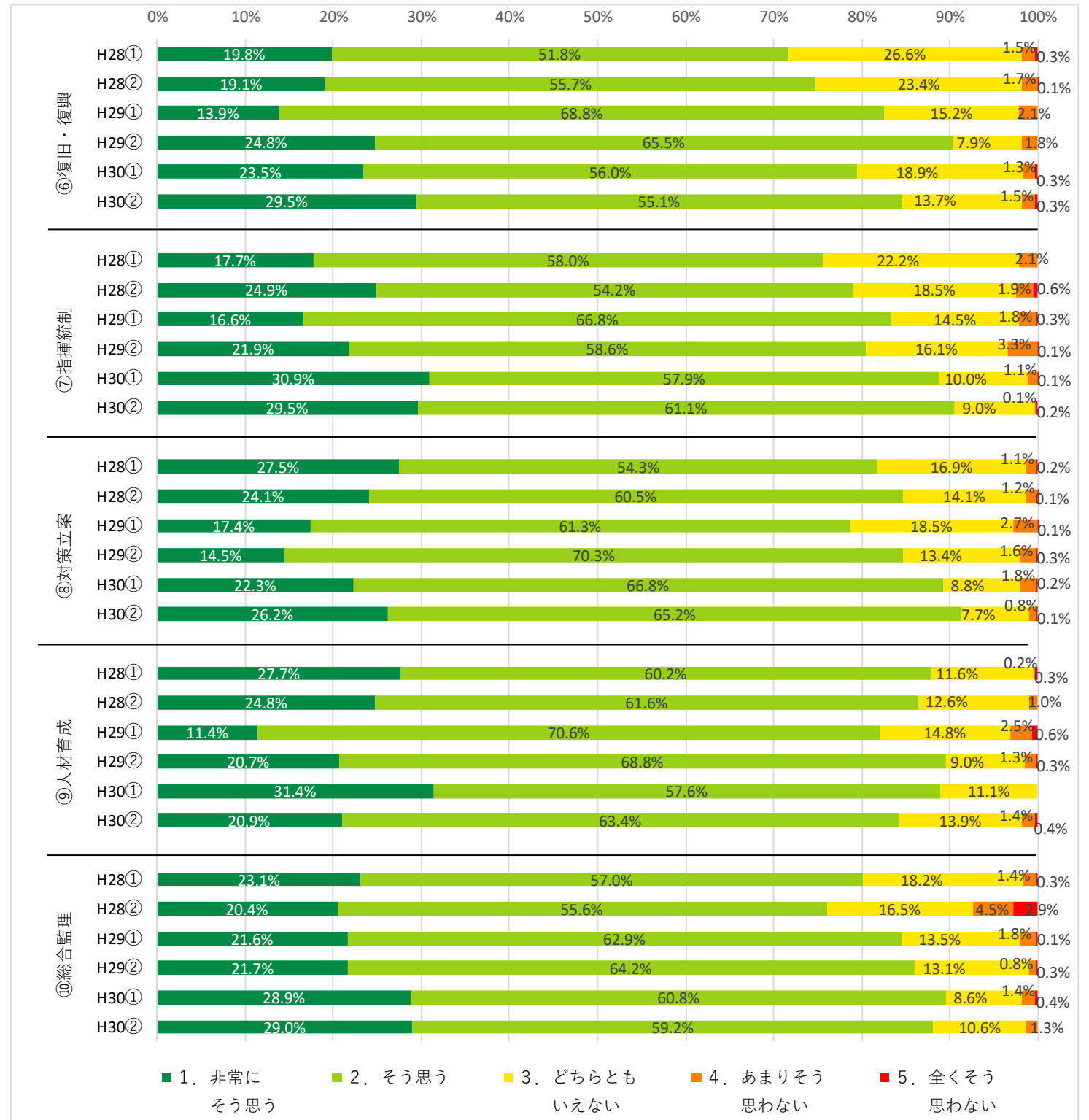
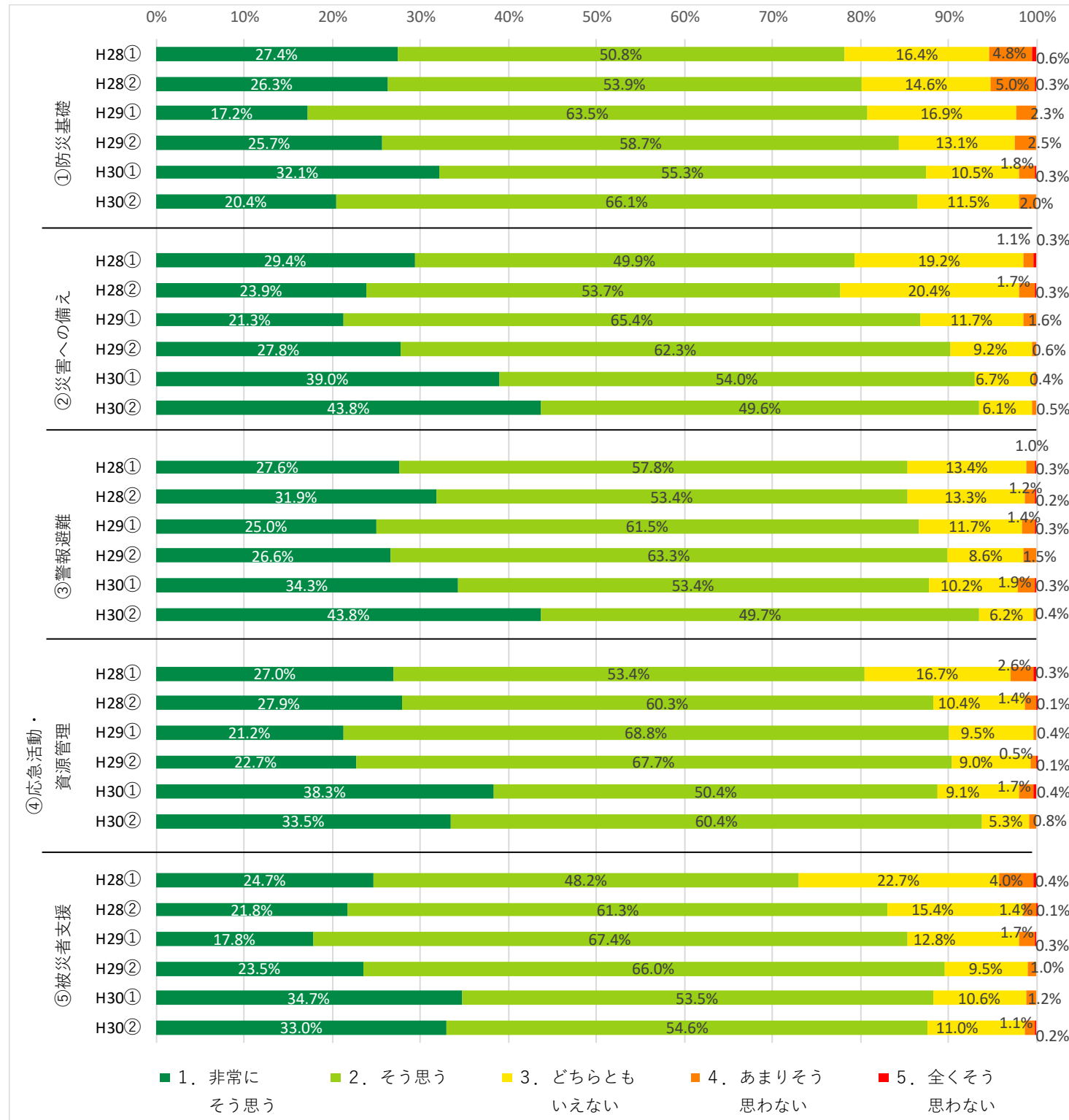
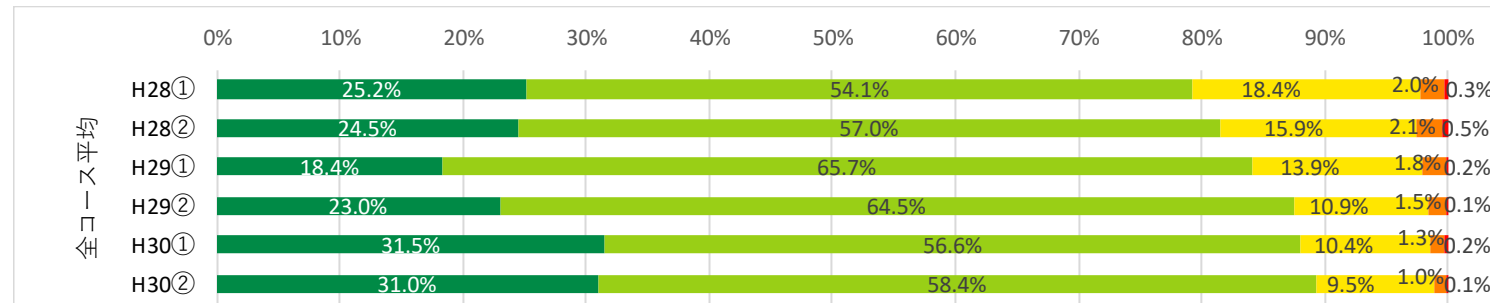
- ・平成 26 年度第 1 期からのコースごとの満足度の平均値を算出している。
- ・コースごとの単元毎の満足度の平均値は、(単元毎の満足度の平均の合計)/(合計した単元数) で算出している。
- ・下記のグラフの「コース平均(赤)」は、(10 コースの平均点の合計)/10 コース で算出している。

(点)

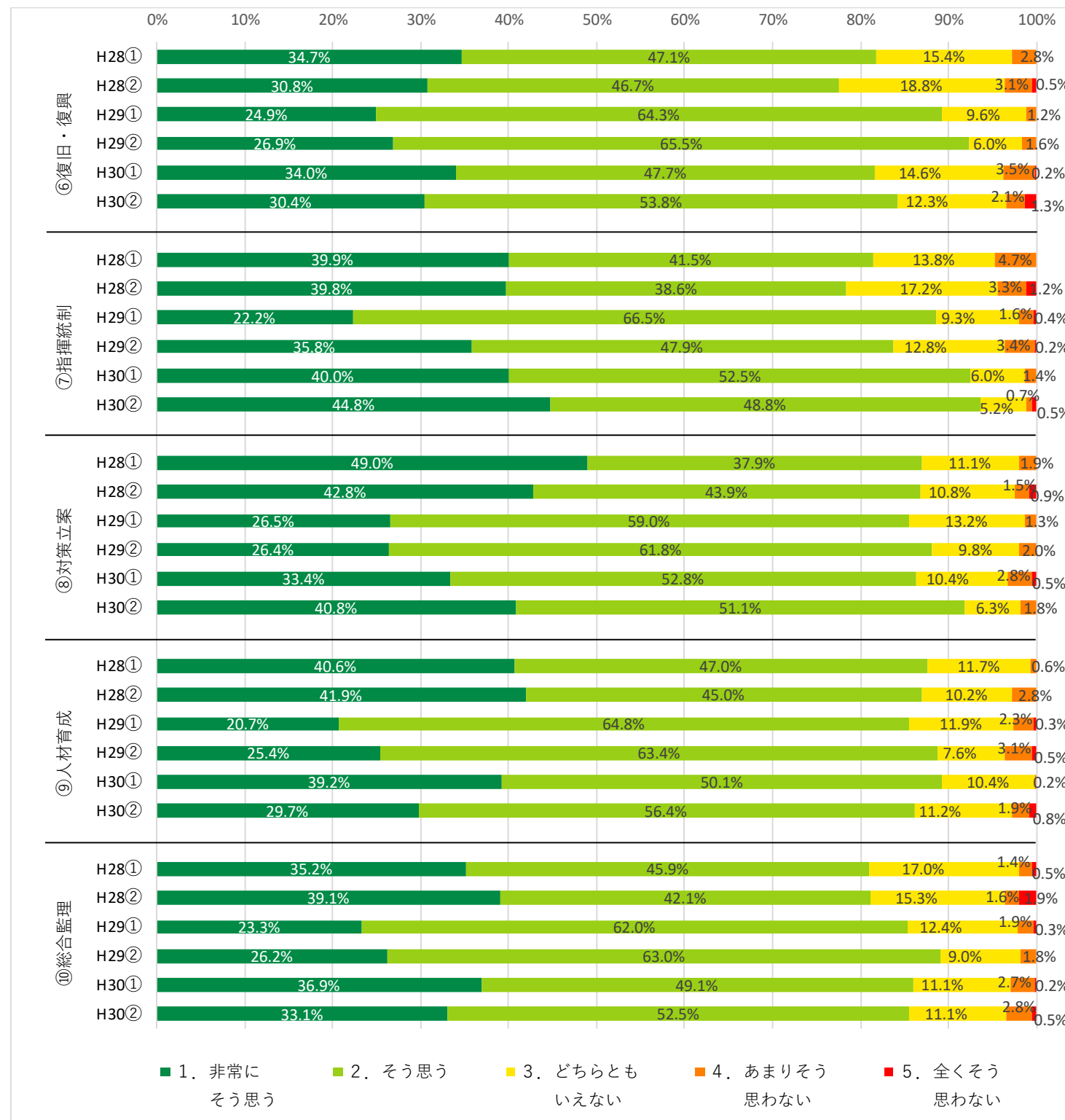
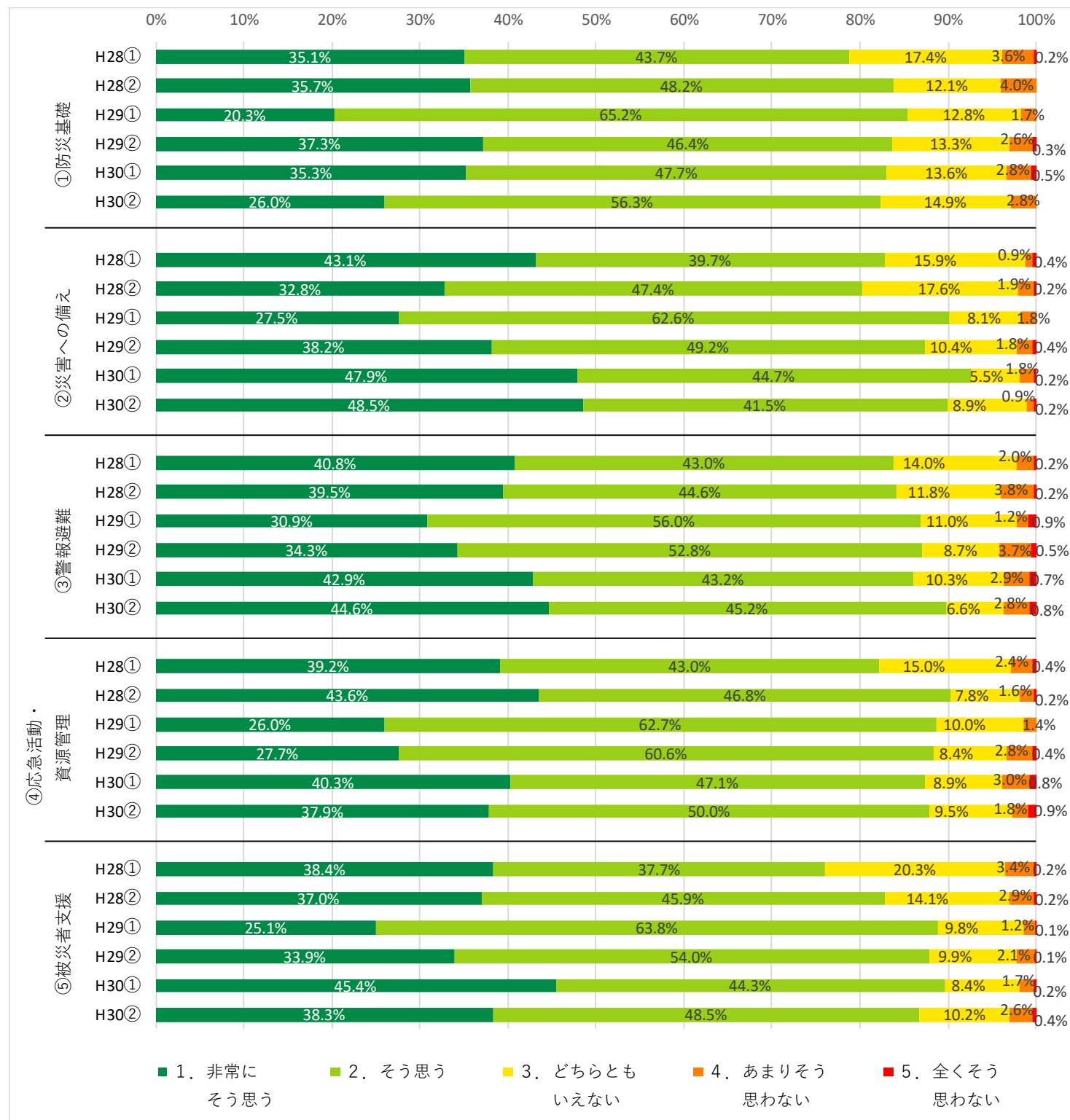
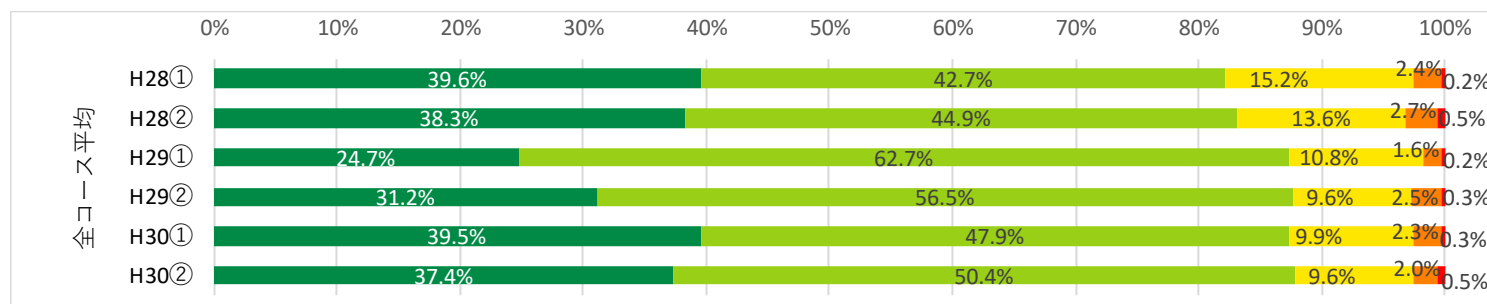
コース名	H26		H27		H28		H29		H30	
	1 期	2 期	1 期	2 期	1 期	2 期	1 期	2 期	1 期	2 期
①防災基礎	81.8	82.9	78.9	83.0	84.4	84.0	84.6	88.3	84.7	85.4
②災害への備え	81.1	81.7	79.4	79.9	85.5	85.1	85.1	84.8	88.8	89.3
③警報避難	86.7	80.8	81.6	84.0	84.9	85.8	87.0	89.4	86.5	87.8
④応急活動・資源管理	86.6	81.7	84.8	84.3	83.8	86.2	86.0	86.5	87.0	86.0
⑤被災者支援	83.3	82.9	84.7	78.9	84.5	85.6	83.4	87.0	87.7	84.7
⑥復旧・復興	80.2	89.6	83.6	82.8	83.8	83.2	84.0	85.3	86.1	83.3
⑦指揮統制	84.3	83.5	80.3	84.1	83.8	83.9	85.8	86.9	88.3	90.6
⑧対策立案	83.7	83.9	79.8	84.3	85.3	86.1	86.4	87.0	86.4	88.0
⑨人材育成	86.2	82.1	82.8	79.9	85.6	85.6	84.0	85.0	87.8	84.0
⑩総合監理	84.2	79.0	81.4	79.7	82.9	82.1	84.8	86.3	86.5	85.9
コース平均	83.8	82.8	81.7	82.1	84.4	84.8	85.1	86.7	86.9	86.4



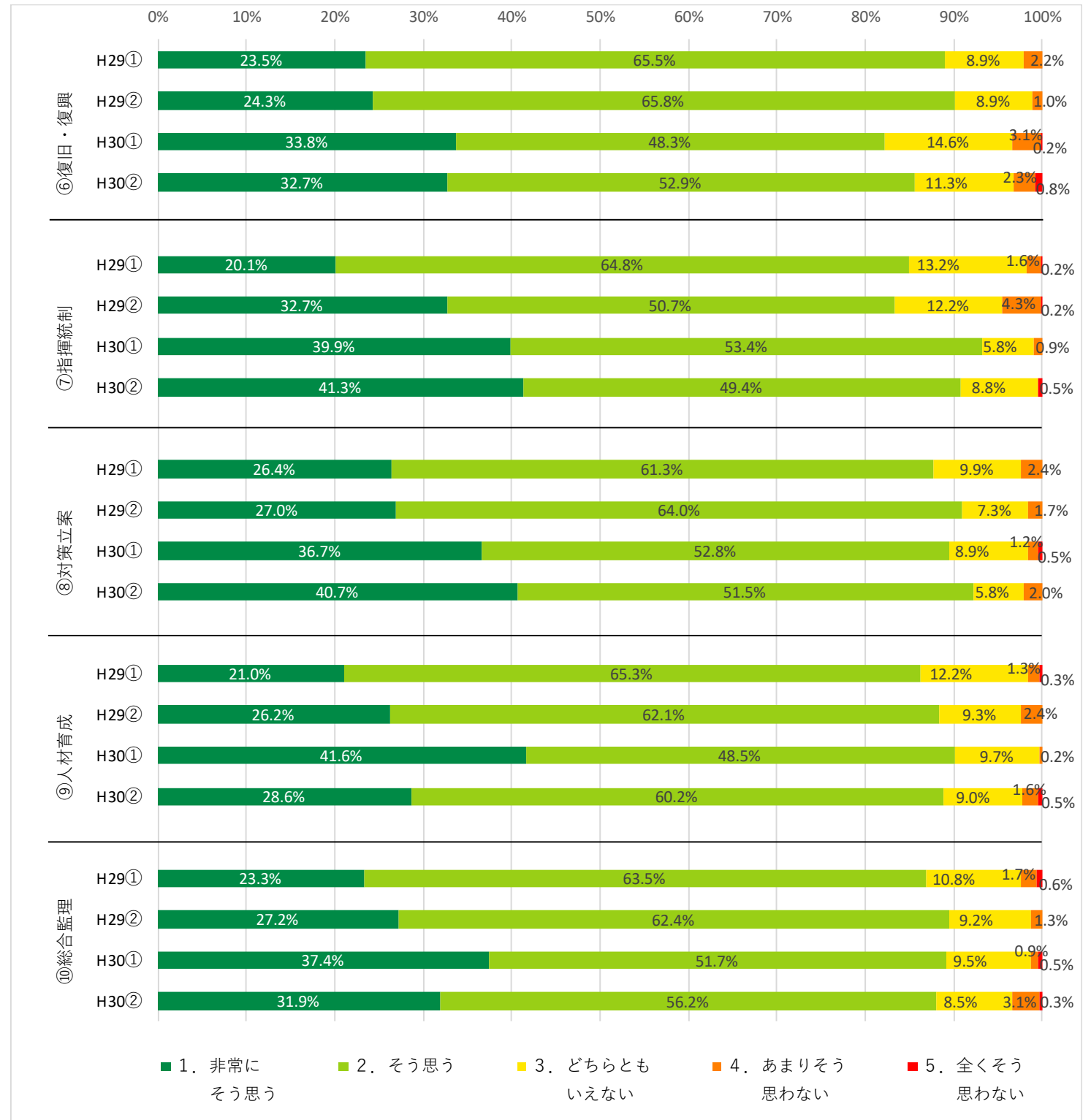
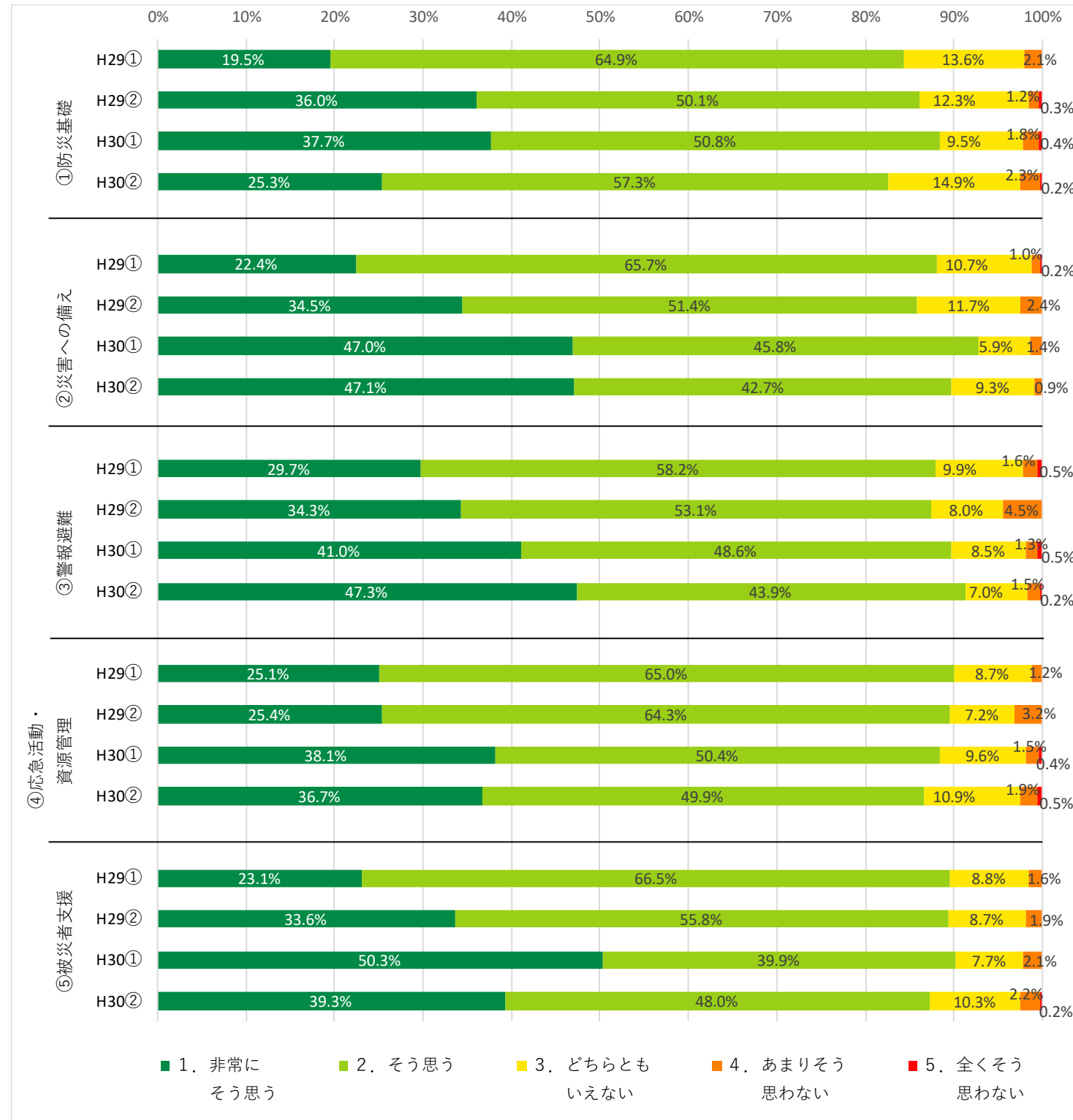
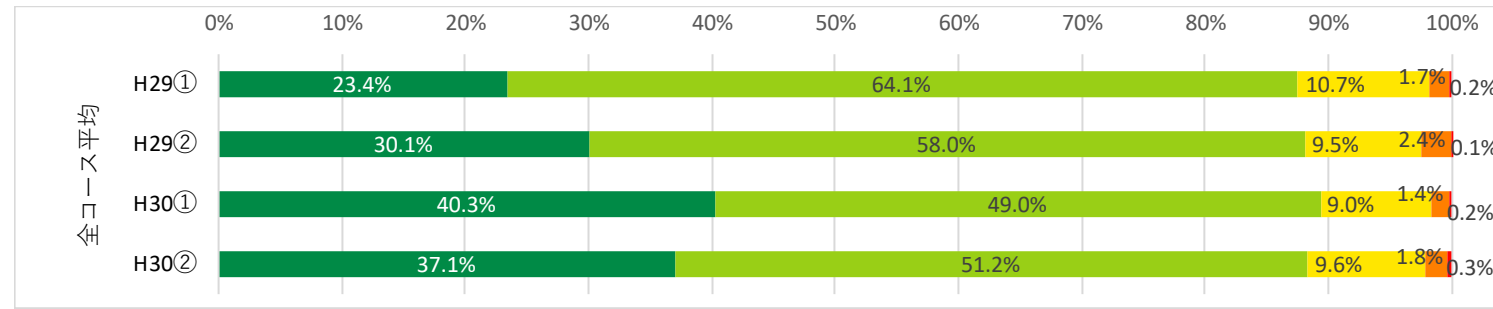
㊦ 「学習目標を達成できましたか？」の回答状況



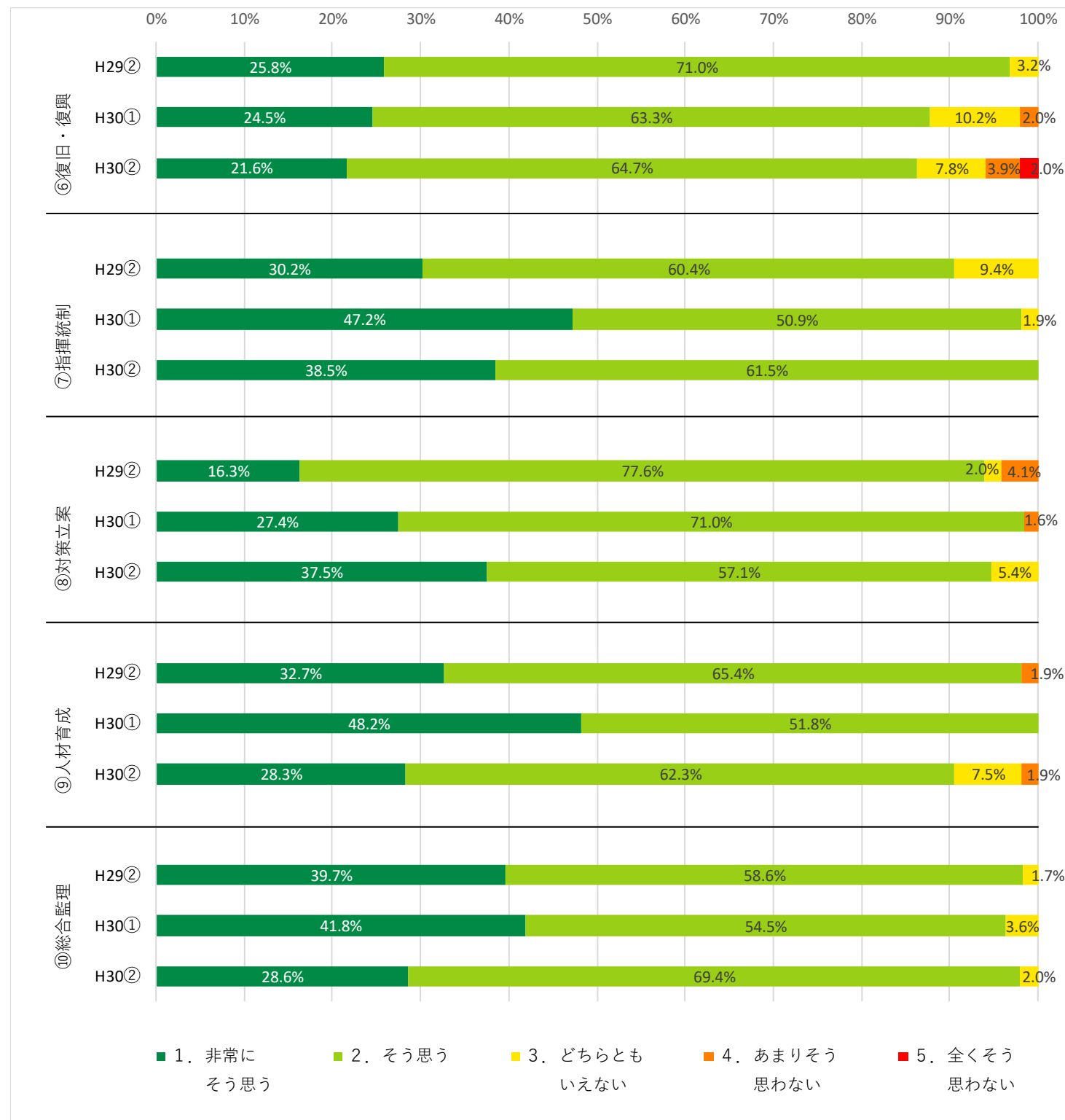
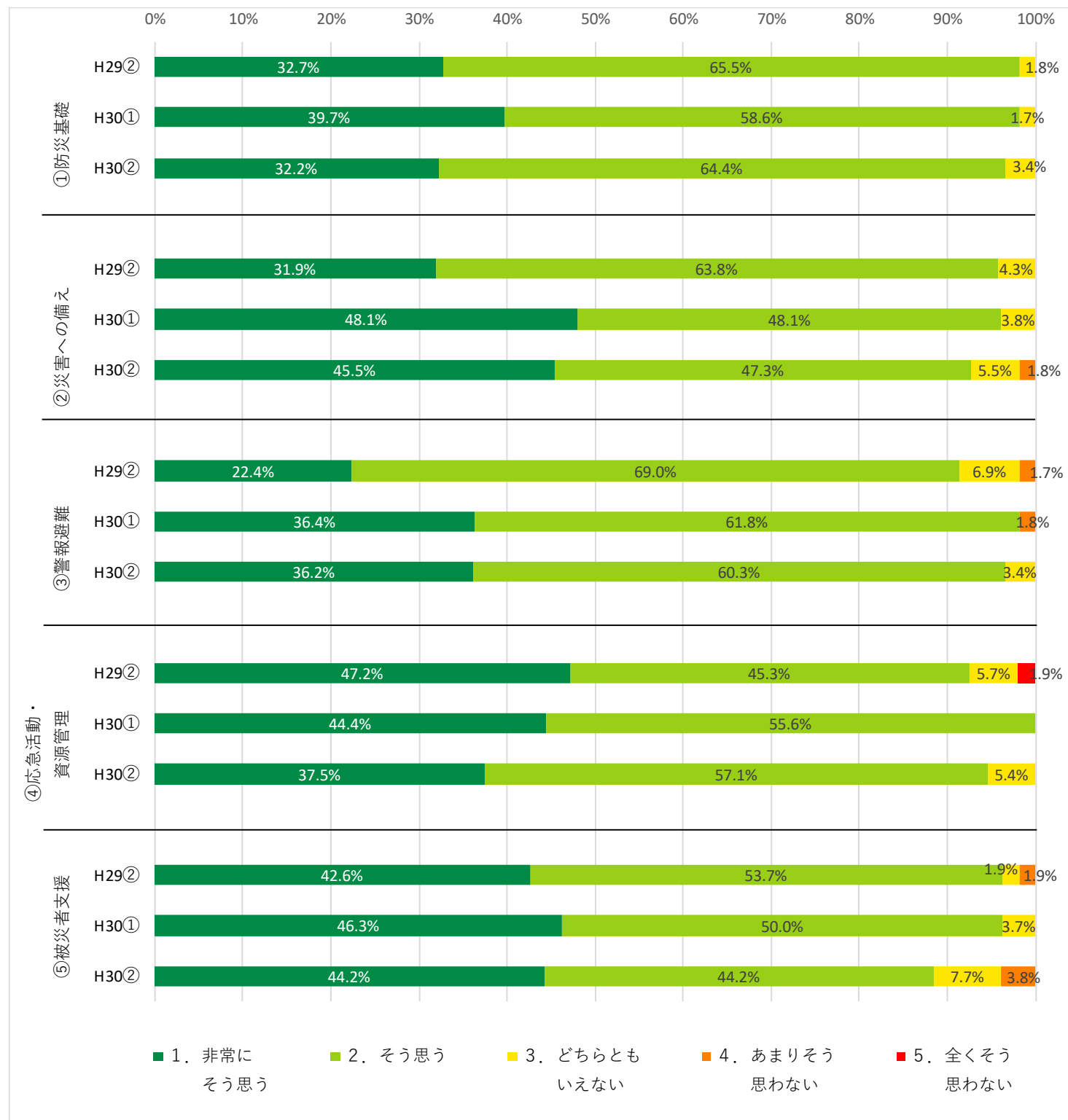
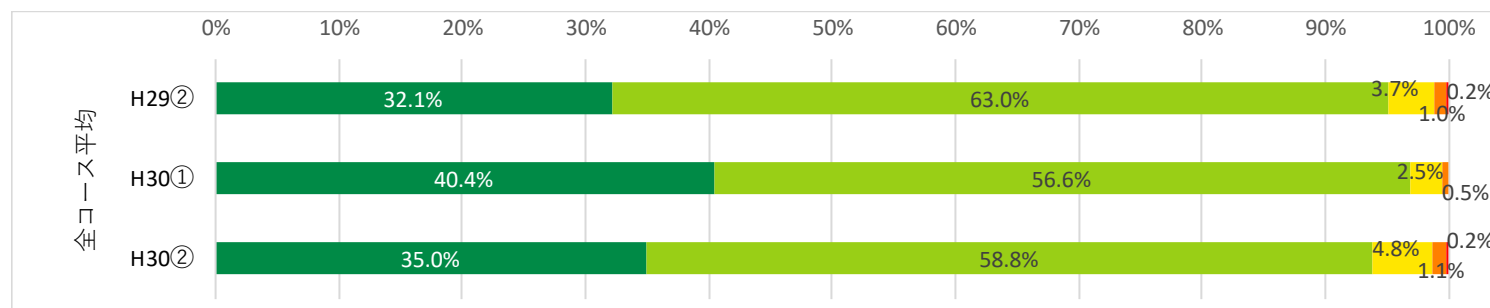
◎ 「講義・演習の方法や進め方(話し方・態度・時間配分・作業・班割り等)は、理解しやすかったですか？」の回答状況



◎ 「テキストの視認性(見やすさ、分かりやすさ)や分量は適切でしたか？」の回答状況



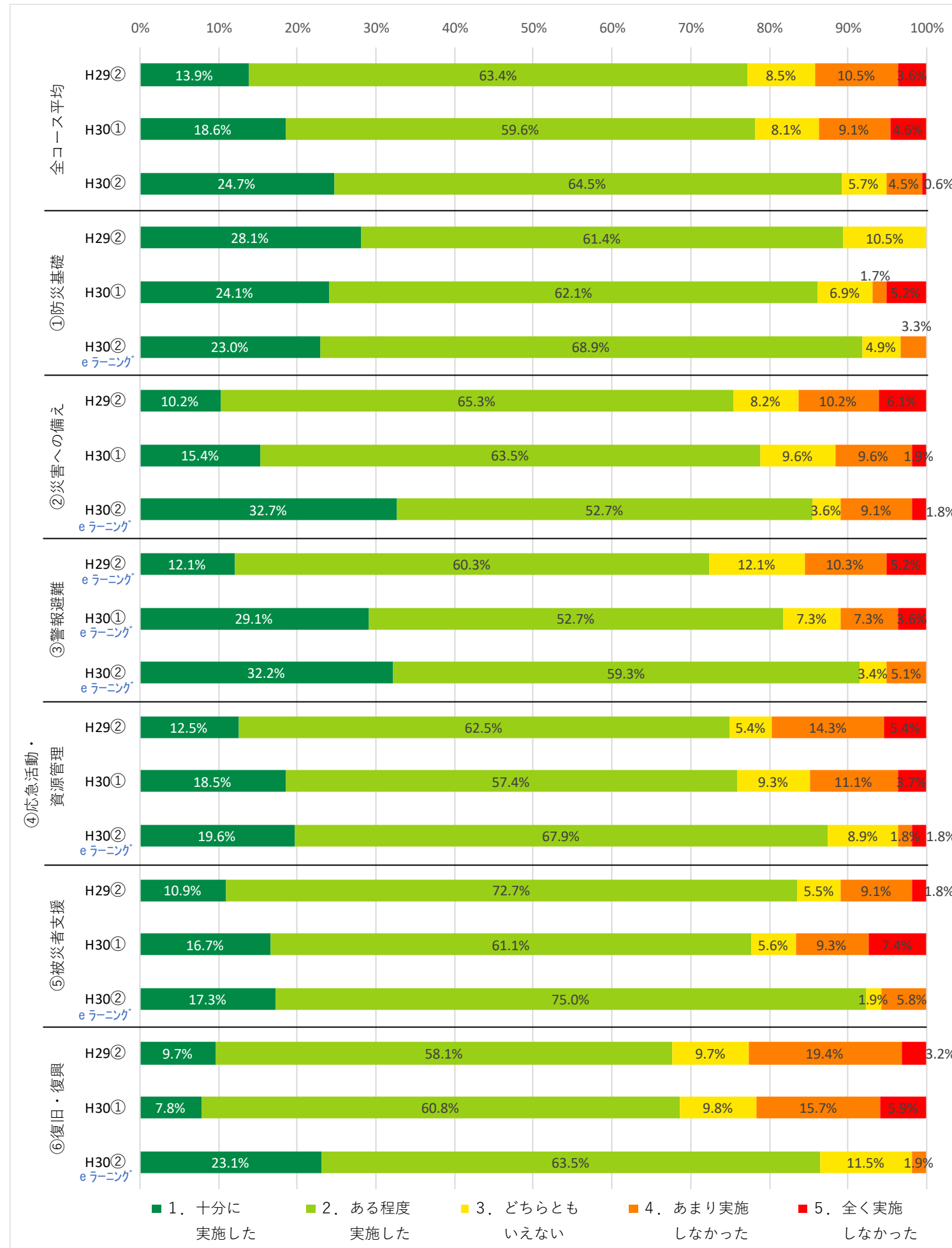
㊦ 「本研修は、期待したとおりの内容でしたか？」の回答状況



㊦ 「カリキュラムは適切でしたか？」の回答状況



㊦ 「事前学習を実施しましたか？」の回答状況

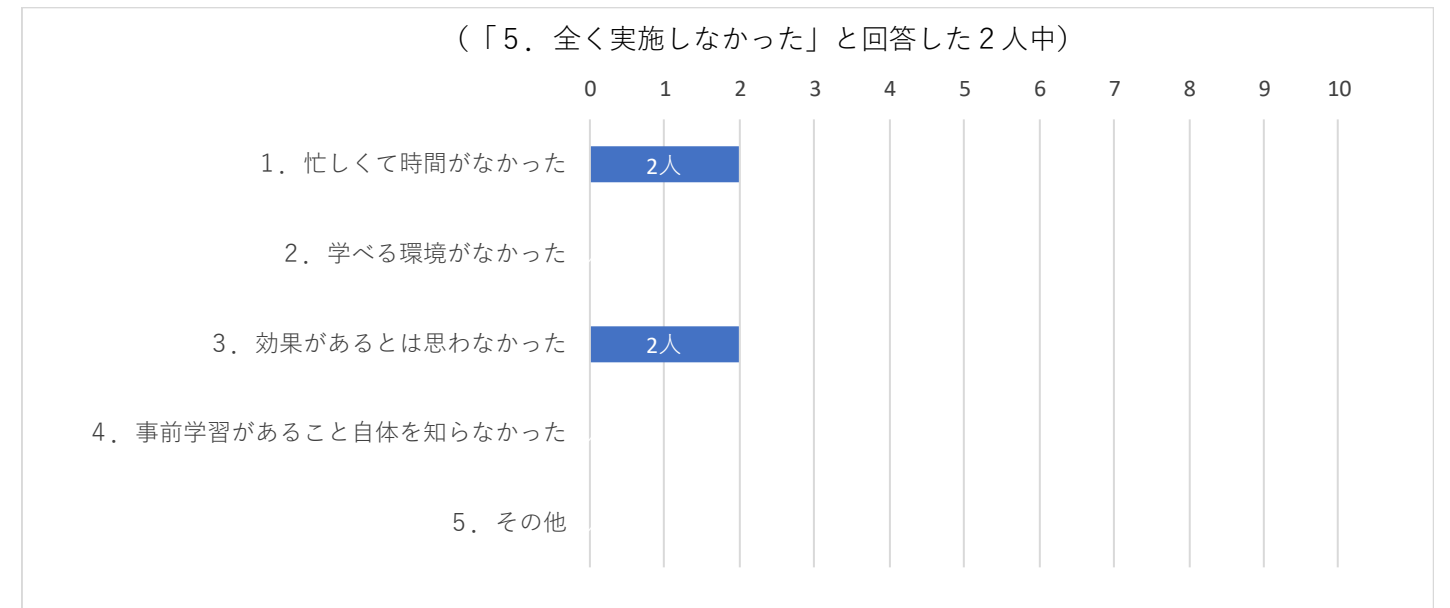


(「全く実施しなかった」と回答した人のみ)

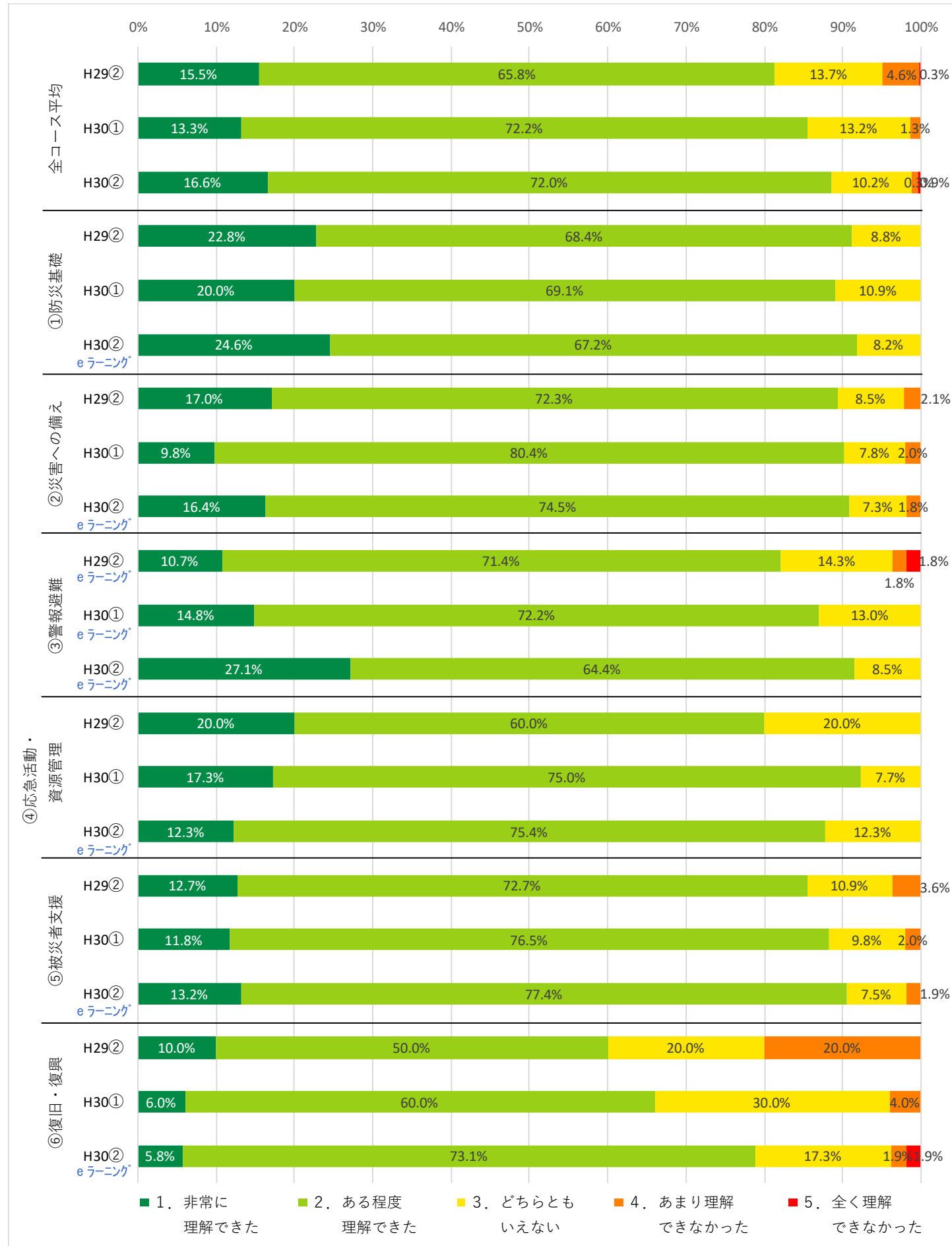
「事前学習に取り組まれなかった理由」の回答状況(対象者2人)

Q.事前学習を「5.全く実施しなかった」と回答された方にお尋ねします。

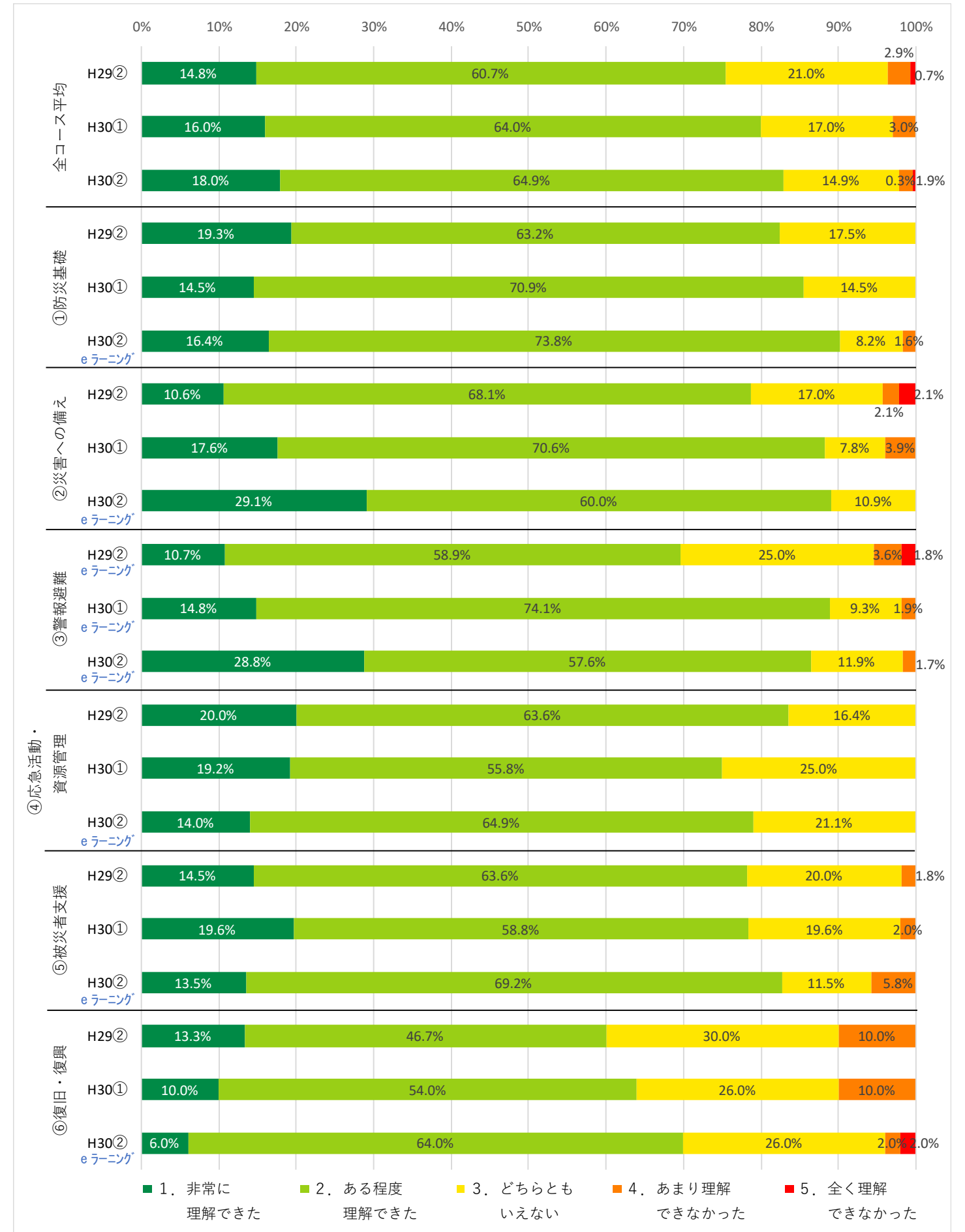
事前学習に取り組まれなかった理由は何ですか？(複数回答可)



㊦ 「事前学習を通じてコースで何について学ぶのが理解できましたか？」の回答状況



㊦ 「事前学習を通じて、自分のわからないことを確認できましたか？」の回答状況



平成 30 年度 有明の丘研修(第 2 期) 人的ネットワーク構築に関する結果まとめ

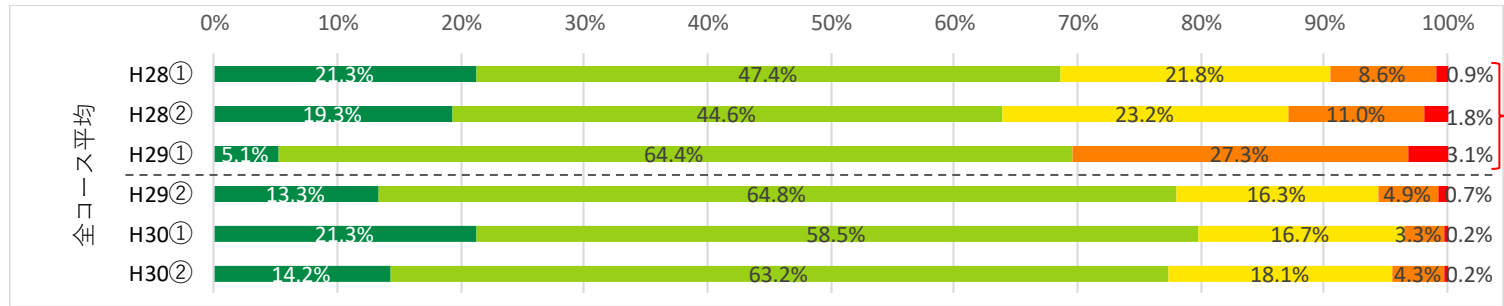
○ 各コースの取組内容

平成 30 年度 第 2 期では、第 1 期に引き続き、人的ネットワーク活性化の方策として「名刺交換の場の確保」、「演習の班替え」を各コースで積極的に導入する取組を実施した。

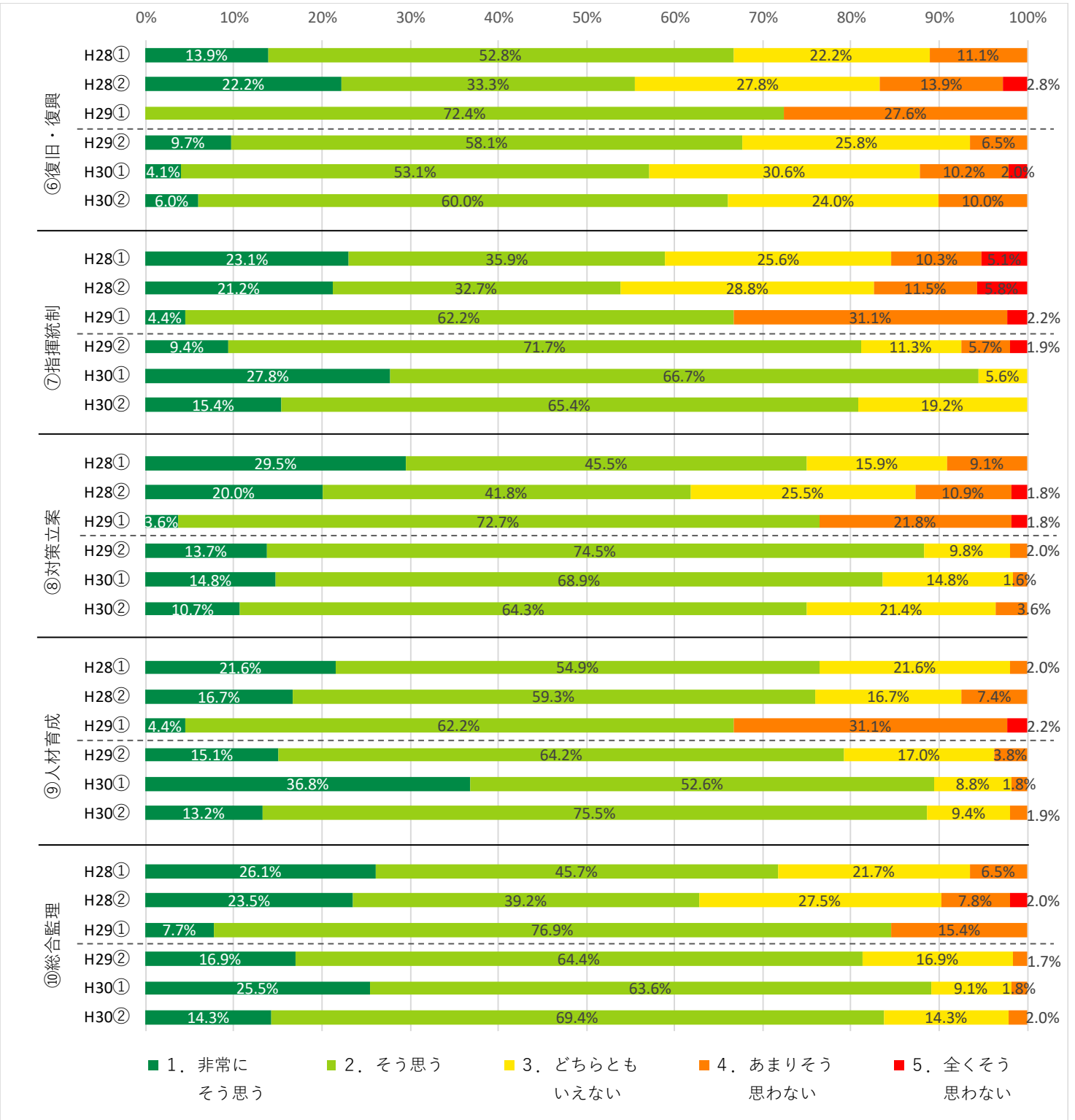
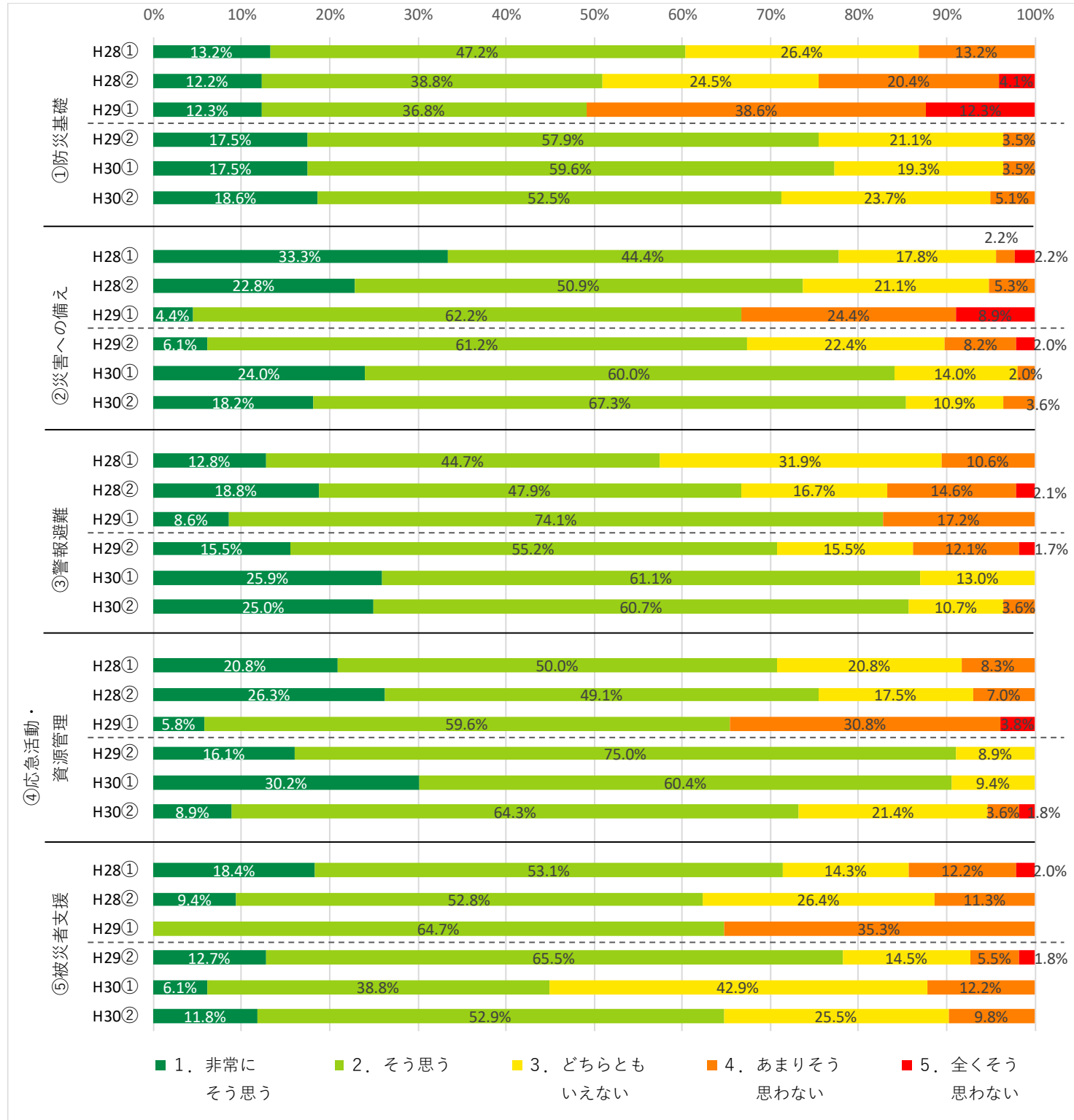
コース名	取 り 組 み						交流会
	名 刺 交 換			演 習 班 替 え			
	有無	実施タイミング	実 施 内 容	有無	班替え回数	演習回数	
全コース共通	—	—	名刺の持参を受講決定通知書で案内	—	—	—	—
①防災基礎	○	1 日目 1 限目	コーディネーターが名刺交換を促し	○	1 回	2 回	○ (外会場)
②災害への備え	○	1 日目・2 日目 昼休み	名刺交換会を実施	○	1 回	2 回	○ (食堂)
③警報避難	○	1 日目 集合写真撮影後	名刺交換会を実施	○	1 回	4 回	○ (外会場)
④応急活動・ 資源管理	○	1 日目 1 限目	コーディネーターが名刺交換を促し	○	2 回	3 回	○ (食堂)
⑤被災者支援	○	1 日目 1 限目	総論を早めに終了し、班ごとに集まって名刺交換を実施		無し	2 回	○ (名刺交換内で交流)
		1 日目 集合写真撮影後	班メンバー以外の人との名刺交換会を実施				
⑥復旧・復興	○	1 日目 1 限目	コーディネーターが名刺交換を促し		無し	2 回	○ (外会場)
⑦指揮統制	○	1 日目 1 限目終了後 2 日目 閉講式前	コーディネーターが名刺交換を促し。		無し	2 回	○ (外会場)
⑧対策立案	○	1 日目 集合写真撮影後	名刺交換会を実施	○	1 回	3 回	○ (外会場)
⑨人材育成	○	1 日目 集合写真撮影前	名刺交換会を実施	○	2 回	3 回	○ (外会場)
⑩総合監理	○	1 日目 集合写真撮影後	名刺交換会を実施	○	1 回	3 回	○ (外会場)

○ 平成 30 年度 第 2 期 最終日アンケート結果(人的ネットワーク)
 最終日アンケートの問いである「人的ネットワークを作ることができましたか？」の回答状況を
 平成 30 年度 2 期の回答とこれまでの回答状況を比較した。

【結果】
 ● 「1. 非常にそう思う」「2. そう思う」の割合が約8割で推移しており、人的ネットワークの取組み状況は概ね良好である。
 ● 引き続き、各コースでの積極的な取組をワーキンググループにおいて検討する。



集計方法が異なる



○ 平成 30 年度 第 2 期 最終日アンケート 自由回答意見

※人的ネットワークに関する意見のみ抜粋

コース名	分類	自由回答意見
①防災基礎	要望	交流会の案内はもっと早くお願いしたい。
②災害への備え	良	ほかの自治体の方々とのグループワークや名刺交換を通じて、同じような仕事の悩みや課題を共有できたこと及びその解決のヒントを得ることができたのは私にとって有意義でした。
	良	名刺交換会を開いていただいたおかげで、より多くの方々とのネットワークが形成できたかと思えます。
	良	昼休みも名刺交換の時間を設けてくださり大変感謝しております。今回学んだこと、人的ネットワークをこれからの業務に反映していきたいと思えます。
	良	様々な立場、部局の方々との意見を交わすことができ、自分の見識が広がりました。
	要望	名刺交換からはじまる、人的ネットワークは良いかと思えますが、合宿研修でも良いかと思えます。
③警報避難	要望	名刺交換で顔の見える関係を作ることは大いに良いことであるが、時間と共に顔を忘れてしまうことから折角初日に写真を撮ることから、2日目それを紙ベースにし、全員にまわし受講 NO を入れてもらえればより良いと感じた。
④応急活動・資源管理	要望	グループでの話し合いの時間がもう少し多くあれば、関係を築くことに役立つと感じた。
	要望	2日目にペーパーで良いので、初日撮った写真の拡大コピーを研修生に回して氏名・所属を書いてもらいたい。名刺のみでは忘却の原理により顔を忘れてしまう。したがって、写真+名前がわかれば、より「顔の見える関係」となると思えます。

コース名	分類	自由回答意見
⑤被災者支援	良	人的ネットワークを作ることができて良かった。名刺交換の時間も、事務局でコーディネートして下さるとスムーズであったと思いました
	良	名刺交換ができる時間が多いのは良かった。班編成と席順が考慮されていて交流しやすかったと思う
	良	グループワークは2日間同じ班だったのでなじめたと思います
	要望	人的ネットワークは、初日の終了後に何も無かったのは驚きました、周りの方々も不思議がっていました。懇親の機会があれば良かった。
	要望	講師の都合等あるのかもしれないが、交流会はある方がいいと思います
⑥復旧・復興	要望	人的ネットワーク作りのためには、1日目に演習があった方が良く思う。
⑦指揮統制		意見なし
⑧対策立案	要望	人的ネットワーク作りのため、交流会に参加したが、研修生のご参加が少なく、残念だった。合間にもう少し自由時間があると、名刺交換もできてよいと思う。
	要望	今回は交流会に参加できなかったため、人的ネットワークがあまりつくれなかった。座学の時点から班編成した座席にしておいた方が、周囲の人と話がしやすいと感じました。
⑨人材育成		意見なし
⑩総合監理	良	ほか自治体との交流ができ良かった

平成 30 年度 有明の丘研修(第 2 期) 確認テスト実施結果

1. 確認テスト改善の取組

確認テストの改善として、平成 30 年度第 1 期に引き続き、以下の取組みを実施した。

【第 1 期での取組】

- 平成 29 年度第 2 期で正答率 70%未満だった問題に着目し、ワーキンググループで問題文を見直した。
- 問題文が悪問ならば問題文を見直し、悪問でなければ各講師に講義中で教えていただけるよう依頼した。

【第 2 期での取組】

- 講師に問題文の修正を依頼し、修正意見があれば修正を反映した。

2. 平成 30 年度第 2 期 確認テスト結果

平成 30 年度第 2 期の確認テストの結果を、平成 29 年度からの結果と比較した。

		平成30年度											平成29年度		
		第2期											第1期	第2期	第1期
		1 防災 基礎	2 災 害 へ の 備 え	3 警 報 避 難	4 応 急 資 源 活 動 理 ・	5 被 災 者 支 援	6 復 旧 ・ 復 興	7 指 揮 統 制	8 対 策 立 案	9 人 材 育 成	10 総 合 監 理	全コース 合計	全コース 合計	全コース 合計	全コース 合計
単 元 別 テ ス ト	テスト実施数(単元数)	6	8	6	7	8	7	6	4	4	5	61	62	62	63
	総問数	35	40	30	35	40	40	30	21	20	30	321	321	321	329
	正答率(平均)	84.4%	93.9%	88.0%	95.0%	95.6%	85.2%	88.0%	87.3%	84.6%	88.0%	89.0%	89.6%	87.0%	84.9%
	正答率70%未満の問数	5	1	2	1	1	5	2	3	3	2	25	26	38	52
最 終 テ ス ト	問数	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	100	100	100	100
	正答率(平均)	93.5%	98.8%	92.4%	98.4%	96.8%	92.1%	92.4%	96.1%	90.2%	91.8%	94.2%	95.1%	84.6%	93.2%
	正答率70%未満の問数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	1	3	4
比 較	最終テスト問題の 単元別テストでの正答率	90.5%	98.2%	89.7%	94.5%	95.4%	86.6%	90.1%	93.4%	80.2%	86.7%	90.5%	90.0%	89.0%	89.0%
	正答率の上昇値	3.0%	0.6%	2.7%	3.9%	1.4%	5.5%	2.2%	2.7%	10.0%	5.1%	3.7%	5.1%	-4.4%	4.2%

【単元別テスト】

- コース全体の正答率の平均は、
平成 29 年度第 2 期(87.0%)⇒平成 30 年度第 1 期(89.6%)⇒平成 30 年度第 2 期(89.0%)と 80%以上で推移
- 正答率 70%未満の問数は、
平成 29 年度第 2 期(38 問)⇒平成 30 年度第 1 期(26 問)⇒平成 30 年度第 2 期(25 問)と減少

【最終テスト】

- コース全体の正答率の平均は、
平成 29 年度第 2 期(84.6%)⇒平成 30 年度第 1 期(95.1%)⇒平成 30 年度第 2 期(94.2%)と 80%以上で推移
- 正答率 70%未満の問数は、
平成 29 年度第 2 期(3 問)⇒平成 30 年度第 1 期(1 問)⇒平成 30 年度第 2 期(1 問)と第 1 期と同じだった

正答率 70%未満の問について、引き続き改善の取組を実施